

1

ものを燃やすくふう

キャンプなどで木を燃やすには、木の組み方をくふうしたり、うちわなどで空気を送ったりした。かんのわ中で割りばしを燃やすには、かんの下のほうに穴を開けると、よく燃えた。



かんの下のほうに穴を開けるとよく燃えるのは、どうしてだろうか。



- 次のようにして、自分の予想を、図などを使って書いてみよう。
ともだち
- 友達の予想と比べてみよう。



予想

かんの上では、ほのおが出て熱い空気が上に上がっているようだったので、下の穴から空気が入って、上から出ていると思う。



予想

アは空気の入口が上だけ。
イは、空気の入口が、上と下の両方に増えたから、
アよりも燃えたと思う。



●予想を確かめるために、実験の方法をくふうしよう。

実験のくふう

結果がはっきりわかるように、器具や方法をくふうすることが大切だよ。



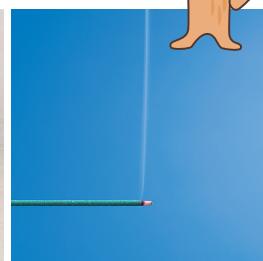
割りばしの代わりに、燃やしやすいろうそくを使う。



かんの代わりに、中が見える、とうめいなびんを使う。



平らにしたねん土の一部を切り取り、底のないびんをかぶせる
と、びんの下にすき間ができる。



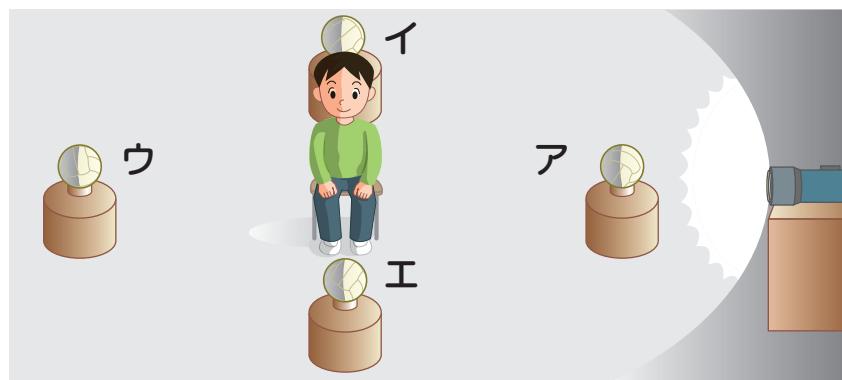
見えない空気の動きは、せんこうのけむりの動きで調べる。

2 たくみさんは、月の形を観察しました。

- ① ある日の午後8時ごろ、南西の空を観察すると、月は、次のような形に見えました。この後、月は、ア～エのどちらの向きに動きますか。



- ② このとき、太陽はもうしずんで見えませんでしたが、月のどちら側に太陽があるかを考えるために、ボールと電灯を使って、実験することにしました。ボールが電灯に照らされた部分が、①の月のような形に見えるのは、たくみさんから見て、ボールを、ア～エのどの位置に置いたときですか。



45-1

- ③ たくみさんは、別の日にも月の形を観察して、写真にとりました。次の3枚の写真は、何時ごろ、どの方位の空をとったものですか。それぞれに当てはまる記録用紙を選んで、線で結びましょう。



•



•



•

朝6時ごろ、ラジオ体そうに行くと、南の空に月が見えた。
太陽は、東の空からのぼったばかりだった。

•

夕方6時ごろ、買い物の帰りに、西の空に月が見えた。
太陽は、西の空にしづんだばかりだった。

•

夕方6時ごろ、科学館の観察会で、東の空に月が見えた。
太陽は、西の空にしづんだばかりだった。